

事業所名

果実の木 成田

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

3

月

21 日

法人（事業所）理念		ユニークパフォーマンス（個の成長）					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団療育プログラムを中心に、その日の子どもの様子を連絡帳で見える化（感覚統合・SST・知育・運動・ごっこ遊び等多岐にわたります。）</li> <li>・ 他者とのかわりに重点を置き、コミュニケーション能力やルールを理解する力を養っていきます。</li> <li>・ 様々な活動を通して情操を豊かにします。</li> <li>・ ただ接するのではなく、子ども一人一人の課題を意識しながら関わっていきます。</li> </ul>					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康状態の把握 検温等健康状態の常なるチェックと必要な対応を行なう。また手洗い、消毒を行い、体調不良への予防をしつつ、利用者一人一人の異変に気づけるように観察を行う。</li> <li>○基本的な生活スキルの獲得 日常生活や社会生活を営めるよう、身の回りのことを自身で出来るように必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。</li> <li>○視覚化により見通しをもって生活環境を整える 生活の中の流れを視覚的に理解出来るようにし、見通しをもって動けるように環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすくする。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 集団活動を通して日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や体の動かし方の習得支援し、必要な筋力の維持・強化を図る。</li> <li>○姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、平均台や椅子を活用するなど利用者自身が意識できるよう支援する。</li> <li>○身体の移動能力の向上 体のバランスを意識しながら、自分の体の動き方を意識出来るようにする。それにより自力での移動や日常生活に必要な能力の向上を図る。</li> <li>○遊びによる感覚の活用 おもちゃやマットなど自分で使いたいものを自分で使いながら感性、感覚を利用者自身で十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感覚や認知の活用 感覚を十分活用して、認知機能の発達を促す支援を行う。イベントでは買い物や料理を通じてお金の使い方や計算、時間の管理などを学ぶ機会を作る</li> <li>○数や時間の概念の認知 数字の表やパズル、時計の教材などを、楽しみながら時間、数の概念を学び深める。プリント等を用い、利用者が自ら理解しやすい支援を行う。</li> <li>○認知の偏りへの対応 認知の特性を踏まえ、利用者の認知の偏り等の個々の特性に配慮し、こだわりに対する支援を行う。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童に合わせたコミュニケーション 児童の興味や発達段階に合わせて、職員が意図を理解し応答しながら、遊びややりとりを通じて人への関心を広げ。表情やジェスチャー、視線などを使ったコミュニケーションを支援し、実際にものを見たり触れたりしながらことばの理解を深める。</li> <li>○コミュニケーションに必要な道具の活用 文字、絵カード等のコミュニケーション手段を適切に選び、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。</li> <li>○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 集団活動を通して他児と関わる楽しさを知り、適切な言葉遣いや相手に伝わる話し方を習得していく。</li> </ul> <p>集団活動は歌やリズム、ゲームを通じて楽しくことばを学べる環境を提供し、日常会話や活動で新しいことばや概念を学ぶ機会を創る。また、「貸して」「いっしょに遊ぼう」などのやりとりを練習する場を設け、職員が見本を示しながら支援する。</p>					

	人間関係 社会性	<p>○集団活動を通じた人間関係の形成 視覚的な手掛かりを使って丁寧に説明し、児童が安心して集団活動に参加できるよう支援する。少人数での運動やゲームなどの活動を通じて、社会性の向上を促し、グループでの協力やコミュニケーションを促す活動を通じて、他者との関わりや協力の重要性を学び、社会的スキルを身に付けられるように支援する。</p> <p>○場面の切り替えの意識 タイマーを使用して始まりの時間、終わりの時間等の時間の意識を持つ。集団療育や個別療育などの一斉指示を通じて先を見据えた行動を行い、相手の気持ちを尊重した言動を取ると共にその場面に応じた行動が出来るよう促す。</p>		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別療育や集団療育にて行った活動の内容を送迎時(お迎え時)や、写真付きでサービス提供記録にてお伝えします。</li> <li>・6ヶ月に1回程度、モニタリングとは別で面談の機会を設け、保護者に共有していきます。</li> <li>・保護者に対して支援のポイントや関わり方のフィードバックを行います。</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて学校に訪問し、児童との関わり方について情報共有、支援方針を計画します。</li> <li>・事業所での様子を他事業所や相談支援に対し、訪問、電話等で伝え、日々様子の情報交換を行います。</li> <li>・学校への送迎時、先生と学校での様子や事業所での過ごし方の情報共有を行います。</li> </ul>
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関で役割分担し、情報を共有を行います。</li> <li>・各関係機関の情報を基に、具体的な場面での関わり方や、困りごとに関しての提案やポイントを共有します。</li> </ul>	職員の質の向上	<p>下記研修実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ研修</li> <li>・専門職員によるスキルアップ研修</li> <li>・虐待防止研修</li> <li>・身体拘束適正化研修</li> <li>・感染症対策研修</li> </ul> <p>その他 児発管ミーティングにて他教室との情報・意見交換実施</p>
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の行事</li> <li>・近隣施設や公園への外出活動</li> <li>・教室内での創作活動</li> </ul>		